中東知的財産ニュースレター Vol. 69

◆ 目次

１．主要トピック

UAE

・ドバイ警察と WIPO による「覚書」が延長へ

・ドバイ税関が知的財産権保護のために 4,344 件の商標を登録

・ドバイ税関が 24 ブランドの模倣品 22,436 点をリサイクル

サウジアラビア

・サウジアラビア知的財産総局（SAIP）がオンラインストア店主に対し、商標権侵害提訴の手続を説明

トルコ

・トルコとアゼルバイジャンが「知的財産権保護に関する覚書」に署名

カタール

・ワールドカップのチケット闇取引でカタールで初の容疑者が拘束

オマーン

・模倣品取引に利用されていた商業施設 2 か所で商品を押収

２．他のトピック

トピック多数のため、文末を参照。

◆ ニュース

1．主要トピック

UAE

・ドバイ警察と WIPO による「覚書」が延長へ[1]

市民の知的財産権の保護とエンフォースメントに関わる当局の責務を果たすため、ドバイ警察は WIPO との覚書を延長した。この覚書は、当事者双方の取組と国際規則・国際協定の適用により、知的財産権とその保護の推進を図るものである。

この覚書は、ドバイ警察の目標を実現するとともに、ドバイ首長国の内外に所在する機関、団体、政府および民間団体のコミュニケーションを推進させることを意図しており、様々な分野における知識・情報・経験の幅広い共有を促進する狙いがある。

ドバイ警察は自らの業務の中で WIPO との共催によるワークショップを年に 1 回実施している。このワークショップはドバイ警察の職員を対象としたもので、知的財産という概念の関連性と重要性を啓発することを目的としている。

覚書に署名したのはドバイ警察署長の Mansour Al Gergawi 大佐と、WIPO 事務局長の Darren Tang 氏であった。

・ドバイ税関が知的財産権保護のために 4,344 件の商標を登録[2][3]

周知のことであるが、ドバイは中東における商業の中心であり、輸出入のルートとして多用されている。こうした事実によりドバイは活気ある市場となっており、競争の激しい市場に違法なやり方で侵入してくる大量の模倣品や詐欺的商品に対処することが期待されている。それゆえ、商品が移動する過程では厳重な警戒が要求される。

ドバイ税関は、模倣品がもたらす害から登録商標の権利者が有する知的財産権を保護し、ひいては社会全体を保護するという非常に重要な役割を担っており、商業事業者や投資家が投資に対する最高のリターンを実現する機会を拡大してくれている。

[1] https://m.facebook.com/dubaipolicehq/photos/a.179855485406259/5839637462761338/?type=3
[2] https://www.dubaicustoms.gov.ae/en/NewsCenter/Pages/NewsDetail.aspx?NewsId=1843
[3] https://wam.ae/en/details/1395303101118

ドバイ税関は 2005 年に知的財産権課（IPR 課）を設立した。それにより、商標権者たちは経済省に登録済みの商標をドバイ税関に登録することが可能になった。この税関登録は、いくつかのプログラムとプラン（経済省への商標登録サービスを含む）を通じて商標権者を保護している。かくして商標権者たちが模倣品に対抗することが可能になり、ドバイ税関の力を借りて模倣品がドバイ国境経由で UAE に侵入するのを阻止できるようになった。

商標権者は、自らの商標を経済省に登録した上で、ドバイ税関のウェブサイトを通じてそれらの商標を税関に登録することができる。税関への商標登録は、模倣品をドバイ首長国に侵入させようとする試みを抑制するのに役立つ。税関職員は個々の貨物を監視し、模倣品が含まれていると疑われる貨物があった場合には商標権者に連絡し、商品が真正品か模倣品かの鑑定/確認を求めることになる。

2005 年に IPR 課が設立されて以来、ドバイ税関に登録された商標は 4,344 件に達している。このうち 2021 年に登録された商標は 437 件であり、2022 年には現時点で 231 件の商標が登録されている。

・ドバイ税関が 24 ブランドの模倣品 22,436 点をリサイクル[4]

ドバイ税関知的財産権課（IPR 課）は 24 の国際的ブランドを騙った模倣品 22,436 点をリサイクルした。リサイクルされた模倣品は電話、時計、電池、靴、バッグ、装身具、化粧品等である。

リサイクルに当たっては、外交使節団の代表、ドバイ市およびドバイ税関の職員がバーチャル技術を利用して現場に立ち会った。

当局がこれら模倣品のリサイクルに踏み切ったのは、模倣品の処分によって環境被害が生じないことを確認するためである。ブランド権利者が税関の検査官および職員を対象としたワークショップを開催し、模倣品の識別方法を教示することもでき、ドバイ税関はこのようなワークショップを歓迎している。

サウジアラビア

・サウジアラビア知的財産総局（SAIP）がオンラインストア店主に対し、商標権侵害提訴の手続を説明[5]

サウジアラビア知的財産総局（SAIP；Saudi Authority of Intellectual property）は、商標権者および国内の消費者全体を保護するという当局の業務において、徹底した厳格さを誇っている。周知の事実であるが、知的財産侵害のない市場を手に入れるという目標を実現するためには、商標権者のみな

[4] https://www.dubaicustoms.gov.ae/en/NewsCenter/Pages/NewsDetail.aspx?NewsId=1841
[5] https://www.saip.gov.sa/en/news/1410/

らず一般の消費者も、模倣品取引の魔の手から自らの商標および/または自分自身を保護し、各人の権利を行使するために利用できる規定/仕組みを知っておくべきである。

商標権者から事前に許可を得ずにオンライン取引の過程で登録商標の侵害や権利者以外の人物/団体による使用がなされた場合を想定し、SAIP は最近、オンラインストアの店主に対し、当局に告発状を提出する手続を説明した。告発状のフォームに必要な情報を記入した上で当局の公式ウェブサイトを通じて提出する、という告発のステップを当局は解説している。

このような取組は、知的財産権を尊重することの大切さを周知・普及させるために組織的な調査活動を継続しようとしている当局の努力の片鱗を窺わせるものである。

上記の店主向けの説明の中で、告発のために設けられた当局のチャネルを通じて侵害発生の可能性を通報/告発することにより市民や住民が当局の試みを支援する必要がある、と SAIP は強調している。

トルコ

・トルコとアゼルバイジャンが「知的財産権保護に関する覚書」に署名[6]

トルコ特許商標庁（TÜRKPATENT）とアゼルバイジャン共和国知的所有権局（COPAT；Intellectual Property Agency of the Republic of Azerbaijan）は、知的財産権保護に関する覚書に署名した。署名に立ち会ったのは TÜRKPATENT 長官の Cemil Başpınar 氏と、COPAT 委員の Sanan Tapdigov 氏であった。

この覚書は、アゼルバイジャンのバクー市で開催された「トルコ-アゼルバイジャン・ビジネスフォーラム」の趣旨の一環として署名されたものである。同フォーラムは、トルコの Fuat Oktay 副大統領とアゼルバイジャン共和国の Ali Esedov 首相の発案によって開催されたもので、両国の民間企業経営者を集結させる形で実施された。

覚書の主な目的は、両国民が保有する知的財産権の保護・エンフォースメントを行うとともに、両国間の経済協力および科学技術面の協力を強化することである。

今回署名された覚書により、2023 年の年末までに知的財産権に関係する 8 件のプランを両国間で実施することが可能になった。

[6] https://www.turkpatent.gov.tr/haberler/turkpatent-ile-copat-arasinda-mutabakat-zapti-imzalandi

カタール

・ワールドカップのチケット闇取引でカタールで初の容疑者が拘束[7]

カタールはかねてから、現在行われている「FIFA ワールドカップ・カタール」の開催期間を通じて、FIFA のコンセプト/商標権に関わる違法行為や模倣品取引を一切許さないという姿勢を鮮明にしてきた。

カタールは、ドーハの公式チケット発行センターの外部で拘束された外国人の男 3 人がワールドカップ絡みの初の逮捕者となったと発表した。犯人らは試合のチケットを転売しようとしている現場を目撃されたのである。当局の声明によれば、逮捕された 3 人は、転売が確認されたチケット 1 枚につき 25 万リヤル（米ドル換算で 68,000 ドル）の罰金を科される可能性があるという。

ワールドカップ関連商品の模倣品/偽造品の販売は厳重に禁じられており、そのような行為は深刻な結果を生じさせる恐れがある、と FIFA とカタール政府は繰り返し警告してきた。当局はさらに、ワールドカップの画像を違法に使用した自動車用ナンバープレートや公式ロゴを使用した衣類が当局により確保されただけでなく、ワールドカップのトロフィーの模倣品 144 点が押収されたと報告している。

オマーン

・模倣品取引に利用されていた商業施設 2 か所で商品を押収

湾岸協力会議（GCC）は加入国の消費者全体の保護や商標権者の権利保護に常に心を砕いているが、そのような保護の追求についてはオマーンも他国に後れをとっていない。

模倣品のない市場という自国の目標を積極的に実現するため、オマーン消費者保護局（Consumer Protection Department of Oman）は、様々な市場、店舗、商業施設を対象とした定期的な調査の実施に取り組んでいる。模倣品/侵害品が販売に供されていないことを確認するためである。

最新の調査において、当局は模倣品および侵害品を販売に供していた商業施設 2 か所で商品を押収することができた。

消費者保護法、同法施行規則、消費者保護に関連して言い渡された判決を適用するならば、これら 2 つの施設は必要な説明的データが表示されていない商品すなわち模倣品を陳列・販売していたことになる。それゆえ当局は、これら施設に対し法的措置をとると同時に、消費者保護法違反に対する過料を言い渡した。科された過料の額は 1,500 オマーン・リヤルであった。[8]

[7] https://www.khaleejtimes.com/football/first-world-cup-ticket-touts-detained-in-qatar
[8] https://pacp.gov.om/ar/Pages/NewsDetail.aspx?NewsID=11706

これとは別の活動の中で、オマーン消費者保護局は県（governorate）の保健サービス総局の医薬品規制課と連携し、北バーティナ地方の 3 店舗から 1394 点の商品を押収するという快挙を成し遂げている。これらの店舗は保健省により禁止された状態のハーブと蜂蜜を無許可で販売していたことが発覚したのである。これらは使用期限が切れた商品であり、製品仕様や規格に適合しておらず、個人の健康と公衆衛生に悪影響を及ぼす恐れがあった。

押収された文書の概要は以下のようなものである。

- 安全衛生に関わる条件をすべて満たしていないにも関わらず販売されていた商品の数――1270 点
- 使用期限切れの商品の数――124 点

押収された商品は所定の手続に従って廃棄された。[9]

2．他のトピック

UAE

・DFSA（ドバイ金融サービス局）の暗号通貨制度が発効。投資用トークン規制に関する制度をドバイ国際金融センター（DIFC）が導入したのに続き、DFSA の取組は第 2 局面に（2022 年 11 月 1 日）
https://www.dfsa.ae/news/dfsa-crypto-token-regime-comes-force
https://www.dfsa.ae/innovation
https://dfsaen.thomsonreuters.com/rulebook/feedback-statement-consultation-paper-no-143-regulation-crypto-tokens

・アラブ出版者会議が著者および出版業者のために地域的な知的財産保護の取組を要請（2022 年 11 月 5 日）
https://wam.ae/en/details/1395303098605

・変革促進における学術界主導団体の役割を強化するという課題を掲げて「Prototypes for Humanity」が開会（2022 年 11 月 10 日）
https://wam.ae/en/details/1395303100483

[9] https://pacp.gov.om/ar/Pages/NewsDetail.aspx?NewsID=11716

・シャルジャの研究機関 SRTI Park で開催された「インベスター・デイ」（投資家向け説明会）において、スタートアップ企業 7 社が投資家たちにアピール（2022 年 11 月 11 日）
https://www.khaleejtimes.com/kt-network/investor-day-shortlists-startups-at-srti-park

・アブダビ証券取引所（ADX）が公衆に警告（2022 年 11 月 12 日）
https://www.khaleejtimes.com/uae/uae-scam-alert-abu-dhabi-stock-exchange-warns-public-against-fraud

・Dish TV に禁止措置。複数のハッカーが知的財産権法および連邦 IT 犯罪防止法に違反したからである（2022 年 11 月 15 日）
https://www.khaleejtimes.com/uae/thousands-tune-in-to-banned-dish-tv

・アラブ首長国連邦宇宙機関（UAE Space Agency）が「宇宙データセンター」（Space Data Centre）に関するプロジェクトを立ち上げ。宇宙関連のデータおよび技術を地球の持続可能性に関わる課題に活用することを目指す（2022 年 11 月 16 日）
http://www.tradearabia.com/news/IND_403272.html
https://space.gov.ae/Page/20121/20274/Space-Data-Center

・アブダビのアラビア語センター（Arabic Language Centre）が「Spotlight on Rights 賞」授与プログラムの受賞者を発表。同賞はアラブ圏の優秀な作家、翻訳家、視聴覚コンテンツ創作者を鼓舞するために設けられたもの（2022 年 11 月 20 日）
https://wam.ae/en/details/1395303103775

・中東最大の高級品小売業者 Chalhoub Group の直営店で模倣品の香水が販売されたという事実を同グループは否認し、UAE 市場に模倣品の香水が流入したという訴は 1 件も提起されていないと主張した（2022 年 11 月 24 日）
https://www.khaleejtimes.com/uae/chanel-to-investigate-fake-perfume-claims

・アブダビ経済開発庁（ADDED；Abu Dhabi Department of Economic Development）が発明家を支援するために「Prototype」と提携。Takamul プログラムはすでに 1,013 件の特許出願を評価検討し、特許登録の条件を満たす出願 377 件を支援している（2022 年 11 月 25 日）
https://wam.ae/en/details/1395303105831

・首長国子供議会（Emirati Children's Parliament）が閉会。この議会は、特に特許、知的財産、新分野開拓の面で子供たちのイノベーション能力を高めるものとなった（2022 年 11 月 25 日）
https://wam.ae/en/details/1395303105884
https://wam.ae/en/details/1395303106504

・移民投資家プログラム（Golden Visa）の拡大：UAE 経済に付加価値を与える特許を有するイノベーターは、UAE のゴールデン・ビザを申請できる（2022 年 11 月 28 日）
https://www.khaleejtimes.com/visa-and-immigration-in-uae/uae-golden-visa-expanded-these-15-questions-will-help-you-know-if-youre-eligible

・ドバイ刑事裁判所は、両替センターで 10,000 ドル相当の偽札を両替しようとした犯人の男に禁錮 3 年および罰金 5,000 ディルハムの刑を宣告（2022 年 11 月 29 日）
https://www.khaleejtimes.com/uae/kenyan-trying-to-exchange-fake-bills-caught-and-jailed

サウジアラビア

・サウジアラビアの国有石油会社 Aramco が AI 関連プロジェクト「Global AI Corridor」を立ち上げ。地域のキャパシティ構築、人材教育、サウジの AI 系スタートアップ企業の育成、資本投資と知的財産の誘致を目指す（2022 年 11 月 1 日）
https://www.arabnews.com/node/2191681/business-economy

・Enekom の特許鉄道ソリューションの GCC における独占的販売店は EDGE に決定（2022 年 11 月 1 日）
https://www.gccbusinessnews.com/edge-becomes-exclusive-distributor-of-enekoms-patented-railway-solutions-in-gcc/

・GWh スケール・バナジウムレドックスフロー電池の実用化を目指してサウジアラビアで展開中の ESS プロジェクトに関して、Tdafoq Energy がインドの OEM 企業 Delectrik Systems 社と提携（2022 年 11 月 2 日）
https://www.devdiscourse.com/article/headlines/2235737-tdafoq-energy-partners-with-delectrik-systems-of-india-for-gwh-scale-vanadium-flow-battery-ess-project-in-saudi-arabia

・SAIP が著作物の強制実施許諾サービスの導入を発表（2022 年 11 月 4 日）
https://www.saip.gov.sa/en/news/1414/

・「知的財産の尊重」（Respect for Intellectual Property）に関する会議に SAIP が出席。工業意匠・特許・商標の概要を見直すとともに保護の必要性についても発言（2022 年 11 月 6 日）
https://twitter.com/SAIPKSA/status/1589306836586762241
https://twitter.com/MonshaatSA/status/1589294035902074884

・アル=カーシム（Al Qassim）の首長が電子プログラム「Falcon Eye」の登録と文書化に貢献し、SAIP から表彰される（2022 年 11 月 7 日）
https://twitter.com/EmarahAlQassim/status/1589699066908184577

・サウジ経済犯罪検察（Saudi Economic Crimes Prosecutio）が犯罪組織を逮捕。貨幣偽造容疑で捜査中（2022 年 11 月 7 日）
https://www.arabnews.com/node/2195441/saudi-arabia

・サウジアラビア海水淡水化公社（SWCC；Saline Water Conversion Corporation）が淡水化ブラインの採掘契約に署名（2022 年 11 月 8 日）
https://www.zawya.com/en/projects/mining/saudis-swcc-signs-agreements-for-desalination-brine-mining-projects-yvxau02y

・ポーランドで開催された「国際ワルシャワ発明展」で銅メダル 2 個と特許 2 件を獲得したサウジアラビアの学生らをキング・アブドゥルアズィーズ大学が表彰（2022 年 11 月 9 日）
https://www.arabnews.com/node/2196726/saudi-arabia

・韓国とサウジの強力なパートナーシップにより 2021 年に出願された工業意匠は 447 件、商標は 2,881 件、特許は 543 件に達した（2022 年 11 月 17 日）
https://www.arabnews.com/node/2201486/world

・国有財産総局（State Properties General Authority）は今後 4 年以内に Saudi Green Initiative の農業・環境計画に着手する意向を発表（2022 年 11 月 20 日）
https://www.arabnews.com/node/2202961/business-economy

・SAIP は教育省（Ministry of Education）との連携により教育課程に知財を取り入れるプロジェクトを発表。学生たちの創造的思考とイノベーションスキルを養うとともに、知的財産に関わる規則、規制および法の認知を高めるため（2022 年 11 月 21 日）
https://www.saip.gov.sa/en/news/1424/
https://twitter.com/SAIPspokesman/status/1594614157428592642

・サステーナブル・パートナーシップ会議（Sustainable Partnerships Conference）が終了。今回の成果として、220 件の科学発明に加えて 1,000 件の研究成果と産業モデルが大学関係者に提示された（2022 年 11 月 25 日、2022 年 11 月 26 日）
https://twitter.com/SPC_MOHE/status/1595764516138221570
https://twitter.com/SAIPKSA/status/1595871311728971777
https://twitter.com/SAIPKSA/status/1595870584046751744
https://saudigazette.com.sa/article/627342/SAUDI-ARABIA/1000-research-products-220-inventions-presented-in-Sustainable-Partnerships-Conference?ref=rss&format=simple&link=link

トルコ
・トルコ特許商標庁（TÜRKPATENT）、WIPO、COPAT の協力により、「地理的表示に関する地域シンポジウムおよび展示会」（Regional Geographical Indications Symposium and Exhibition）が開催された（2022 年 11 月 24 日）
https://twitter.com/TURKPATENT/status/1595819175565459456
https://www.turkpatent.gov.tr/haberler/cografi-isaretler-sempozyumu-ve-sergisi

オマーン
・ARA Petroleum 社はオーストリアの太陽エネルギー装置製造業者 Heliovis 社と協力し、オマーンにおいて太陽熱を動力とする世界初のゼロ放出淡水化プラントの設立を目指す（2022 年 11 月 3 日）
https://www.omanobserver.om/article/1127863/business/energy/oman-to-host-worlds-first-solar-desalination-plant-for-produced-water-treatment

・ドイツで開催された発明プレゼンテーション・コンテストの決勝ラウンド「Falling Walls Lab Finals」にオマーンの発明家 2 名が出場（2022 年 11 月 10 日）
https://www.omanobserver.om/article/1128261/oman/education/3-omani-innovators-participate-in-falling-walls-lab-finals

カタール
・ワールドカップの公式ロゴは FIFA の排他的な所有財産であり、事前に関係当局の承認を得ない限り使用できない（2022 年 11 月 10 日）
https://twitter.com/MOCIQatar/status/1589890314588000256

https://twitter.com/MOCIQatar/status/1590601677698056192
https://twitter.com/MOCIQatar/status/1590238971644497922

クウェート

・商工省が国際的ブランドの模倣品販売で複合商業施設の押収を決行（2022 年 11 月 9 日、2022 年 11 月 16 日）
https://twitter.com/mociq8/status/1590266146149629957
https://twitter.com/mociq8/status/1592746533149380608

パキスタン

・パキスタンの濃縮フルーツスカッシュ Roof Afza の商標がインド、パキスタン両国で登録（2022 年 11 月 17 日）
https://www.arabnews.com/node/2201631/world

世界

・標章の国際登録に関するマドリッド協定の議定書（Protocol Relating to the Madrid Agreement Concerning the International Registration of Marks）に基づく規則の改正が 2022 年 11 月 1 日付で発効（2022 年 10 月 31 日）
https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.wipo.int%2Fedocs%2Fmadrdocs%2Fen%2F2022%2Fmadrid_2022_30.docx&wdOrigin=BROWSELINK

・気候変動：知的財産に何ができるか？（2022 年 11 月 7 日、2022 年 11 月 12 日）
https://www.khaleejtimes.com/opinion/rich-countries-must-take-lead-in-combating-climate-change
https://www.arabnews.com/node/2198406

・2022 年版の「世界知的財産指標報告書」（World Intellectual Property Indicators）が発表される（2022 年 11 月 21 日）
https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo-pub-941-2022-en-world-intellectual-property-indicators-2022.pdf
https://wam.ae/en/details/1395303104712

[特許庁委託]

中東知的財産ニュースレター　Vol. 69

[著者]

United Trademark & Patent Services [UTPS]

[発行]

日本貿易振興機構 ドバイ事務所

2022 年 12 月発行 禁無断転載

本ニュースレターは、United Trademark & Patent Services が英語にて原文・日本語訳を作成し、JETRO ドバイ事務所がそのチェックと修正を施したものです。また、本ニュースレターは、作成の時点で入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは著者及び当事務所の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものでないことを予めお断りします。なお、本ニュースレターの内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

また、JETRO は、ご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なうようお願いいたします。本文を通じて皆様に提供した情報の利用により、不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いかねます。